



特別講演会「既に始まりつつあるiPSテクノロジーの応用」開催報告【関連記事2ページ】

これから目指す心理学部の教育



心理学部長 中野 倫仁

今年4月1日付で心理学部長を拝命しました。前任の高橋憲男学部長が学部開設当初から築き上げてきた業績をさらに発展させるべく努力を継続してまいります。コミュニケーション障害および文理連携のこのころの科学という見地から、臨床心理学科と言語聴覚療法学科を統合した心理学部は11年目の新たな段階を迎えました。この間、このころの科学は東日本大震災という未曾有の災害や少子超高齢社会などの問題から、ますます重要な分野になってきています。

臨床心理学科においては、臨床心理士養成第1種指定大学院課程と一体的に教育を行い、高度職能人として心理職希望の学生に対応しています。また、一般企業への就職希望者へは産業カウンセラー養成講座を3年次に用意し、すでに4期の修了生を輩出しております。心理職の国家資格化の議論は関係学会・諸団体の間で現在進行中であり、本学部でも速やかに対応できるカリキュラムを用意して、法案成立に備えております。付設している心理臨床・発達支援セン

ターでも来談者数は一貫して増加傾向にあり、地域のニーズに着実に対応しています。

言語聴覚療法学科においては、OSCE(客観的臨床能力試験)とPBL(問題解決型授業)をいち早く導入し、大学病院の言語聴覚治療室との連携を図りながら臨床教育を行っています。言語聴覚士国家試験対策としては模擬試験を複数回実施し、国家試験形式の卒業試験を行っています。1期生以来、国家試験合格率は全国平均を上回り、その内2回は全国一を達成しています。また、全国でも珍しい3年次編入による2年課程での言語聴覚士養成が可能であり、多くの編入生が大変ハードなカリキュラムを乗り越えています。

両学科とも多様な学生に対応できるように、教員による少人数担任制、大学院生による学習指導などを取り入れ、指導しています。医療人育成という本学の使命と『唯一生き残れるものは変化できるものである』との考えを踏まえて、適応力のある学生の育成に邁進していきたくと考えています。

CONTENTS

これから目指す心理学部の教育	1
新任教員紹介	2
特別講演会開催報告 「大学間連携共同教育推進事業」に採択	
2013年度入試情報・入試結果速報	3
歯科医療最前線	4
薬学6年制教育支援システムの表彰 Poster Abstract Awardを受賞 インドネシア大学歯学部との姉妹校協定延長	5
2012SCP任命式・2011SCP報告会開催 SCPと衛生士専門学校生が 当別アパート組合との懇談会に参加	6
学校法人東日本学園後援会 学園・同窓会役員懇談会を開催 「薬事功労者厚生労働大臣表彰」を受賞	7
授業レポート	8
私の学生時代	9
OG訪問「心理学部臨床心理学科」	10
STUDENTS' ACTIVITIES & EVENTS 合同就職相談会開催	11
TOPICS ○薬物乱用防止に関するセミナーを開催 ○JADR総会・学術大会にて優勝 EDITOR'S NOTE	12